

グローバル人材育成事業

8月10日（木）から18日（金）に姉妹都市ケアンズ市を訪問し、中学生8名が参加しました。

グローバル人材育成事業に参加して

濱口 桜汰



僕はグローバル人材育成事業に参加し、とても有意義な時間を過ごしました。僕がお世話になったホストファミリーは、ジッパーさんという方達です。初めて会ったときは不安で緊張していましたが、ゆっくりと話してくれて部屋の案内なども優しく説明してくれたので緊張もほぐれてリラックスすることができました。21歳のお兄ちゃん（ジェームズ）は家にいることが少なくあまり話をすることができませんでした。12歳の女の子（メディソン）と9歳の男の子（ダイアン）とはテレビゲームやサッカー、トランポリンをして1日中遊びました。一緒に体を動かすことですぐに打ち解けることができ、単語しか言えませんが、通じるものがあつたように思います。休日にはダイアンのサッカーの試合に行き、周りの人たちと一緒に応援ができました。

学校では、みんなが話しかけてくれてうれしかったです。中には「こんにちは」と言って話しかけてくれる子もいて言葉が通じるうれしさを、より一層感じることができました。休み時間は日本と同じ様にスポーツをして打ち解けました。

今回、僕は3つの事を得ることができました。1つ目は、積極的に自分から話しかけ、コミュニケーションが取れるようになったことです。2つ目は、共通言語である英語を身近に感じる事ができたことです。そして3つ目は、英語の必要性が今まで以上に分かったことです。僕はスポーツを通じて現地の人々と仲良くなれることができましたが、会話が通じるともっと楽しい時間だったと思います。今まで英語の授業が苦手でしたが身近に感じる事ができたおかげで少し楽しくなる予感がしています。将来どこに行っても、どの職業についても共通言語の英語は、必要不可欠です。まだ将来のことまで考えられませんが、まずは、自分の意見が日本語だけでなく英語でも伝えることができるようになることを目標にしていきたいと思っています。

グローバル人材育成事業に参加して

大地 朔



ケアンズは美しいビーチ、豊かな野生動物、グレートバリアリーフで知られています。私は新しい経験を求め、ケアンズに行くことを楽しみにしていました。

飛行機では1時間しか寝られませんでした。ホテルで朝食後、市役所、大使館、水族館を訪れました。水族館には見たことのない魚やワニがいました。その後、緊張しながらホストファミリーのBenさんに会いました。家には広い庭があり、リビングにはコアラのレゴとカンガルーのフィギュアがありました。一緒に卓球、バドミントン、ネットボールとペタンクをし、楽しい時間を過ごしました。

休日にはジャングルに連れて行ってもらい、オーストラリアの自然を満喫しました。ワニの看板、可愛い赤ちゃんカンガルーなどを見ました。海にも行き、波のギリギリを避けるゲームをしました。お昼にはBBQを楽しみました。ケアンズのBBQは、パンにバター、焼いた玉ねぎ、長いソーセージ、ケチャップを重ねて作ります。とても美味しかったです。夜には家族でUNOをし、女子サッカーのワールドカップを見て盛り上がりました。

セント・ジェラルド・マジェラ小学校には2日間行きました。ペンソーくんが私のガイドさんになってくれ、親切に案内をしてくれました。休み時間にサッカーをし、シュートを打ったら上のバーに当たってゴールには入らなかったけど、みんなが「Close!（すごく惜しい）」と言ってくれました。

ケアンズでの経験は、私にとって貴重で楽しいものでした。ホストファミリーとの交流、自然の美しさ、地元の文化、全てが素晴らしかったです。これからも、この経験を大切に、新しい冒険に挑戦していきたいと思っています。



オーストラリアに行って学んだ事

橋本 善



今回のグローバル人材育成事業は海外に行きたいという軽い気持ちで応募しましたが、実際行ってみると想像以上に楽しく、初めての出来事ばかりでした。

バスに乗って関西国際空港に着きその広さにとても驚きました。それから飛行機に乗りケアンズに着きました。そして一番に目に入ったのがとても綺麗な景色でした。

その後ホームステイ先の方と対面しました。最初に会った時は、英語で上手くコミュニケーションがとれませんでした。四日間のホームステイでショッピングモールに出かけたり、子供達のサッカーを、応援しに行ったり、ケアンズの姉妹都市である地区の祭りに参加し、ホームステイ先の方とケアンズの人たちと一緒に過ごす時間の中でケアンズでの生活にも徐々に慣れてきました。

今回ケアンズの小学校に行って勉強しました。一人一人にパートナーがついて学校案内をしてくれたり分かりやすい英語で話しかけてくれたりしたのでとても楽しく勉強できました。

僕が今回印象に残っていることは、グリーンアイランドに行ったことです。初めてクジラを見たり、ガラスばりの船に乗ってコバンザメやサンゴを見たりとても楽しかったです。

僕は、今回オーストラリアに行って学んだことは、何事にも怖がらず挑戦することがとても大切だと思いました。これからの生活でも何事にも自信を持って挑戦し続けていきます。今回このような機会をあたえてくださってありがとうございました。

グローバル人材育成事業に参加して

野田 健心



僕はもともとオーストラリアに行きたいとは思っていませんでした。だから、申し込みもする気もなかったのですが、母が「もしオーストラリアに行けるようになったらスマホを買ってあげる。」と言ったことで、気持ちが一変しました。そして、抽選会に挑み、見事オーストラリア行きを引き当てることができました。スマホもゲットでき、その時の気分は最高でした。

関西国際空港を夜に出発し、一日目は飛行機の中での一泊でした。初めての海外への訪問だったので、飛行機の中では緊張がありました。朝になって飛行機が到着し、オーストラリアの景色と空気に触れた瞬間に気分が上がり、わくわくするような感じでした。

二日目から五日目まではホームステイ先のファミリーと一緒に過ごしました。祭りや海に連れて行ってもらい、日本では味わえない経験ができました。ホストファミリーは、みんな優しく話しかけてくれたので英語での会話もしやすく、そのおかげか英語が上達したような気がします。

四日目と五日目は、小学校に行きました。日本の小学校とは違うところがたくさんありました。特に違うなと思ったところは、チャイムがないことです。皆が時計を見て行動していて、すごいなと思いました。

六日目には、グリーン島に行きました。海で泳いだり友達を砂に埋めたりして一緒に行った友達とも楽しく過ごすことが出来ました。

そして、七日目の帰国の日、ほっとした気持ちと、オーストラリアを離れる少し寂しい気持ちがありました。最初は「行かなくてもいいや。」と思っていたけど、行かなかったら出来ない日本との文化の違いなどを体験させてもらい、学ぶことが出来て本当に良かったと思います。関係者の皆様にとっても感謝しています。"まずチャレンジすることの大切さ"今回特に感じたことをこれからの人生に活かしていきたいと思っています。